

# モールス通信入門

## Introduction to Morse Communications

モールス符号を覚えたり受信練習や送信練習をすると、それが出来るごとに『達成感』と『満足感』があります。脳細胞の活性化や中高齢者の脳トレにもピッタリです。この機会に是非モールス通信を始めませんか？符号の覚え方から送信練習までをやってみましょう。

### 1 モールス符号を覚えましょう

モールス符号は短点や長点と、その組み合わせになります。

短点	長点
● (ト) と表現します	— (ツ—) と表現します

(例)  
 (トツ—) → A      (ツ—トトト) → B  
 (ツ—ト ツ—ト) → C  
 (ツ—ト ツ—ト ツ—トツ—トツ—) → C Q

一般的に「Aはトツ—」「Bはツ—トトト」「Cはツ—トツ—ト」と覚えませんが、これですと送信は出来ますが、受信がなかなか出来ません。

そこで「トツ—はA」「ツ—トトトはB」「ツ—トツ—トはC」と符号を先に、次に文字と、声に出して覚えます。これですと受信が効果的に出来ます。

弊社の受信練習器ピコモールスに付属の**黄色のマジックシート**を使うと、効果的に符号が覚えられます。

◀受信練習器の**ピコモールスNHC-05G**です。



ピコモールスに付属の「マジックシート」です。三つ折りにして使います。



三つ折りにしました。Eの文字面は裏に折り見えなくします。「トはE」、「ツ—はT」、「トツ—はA」と覚えます。ステップ0から順次覚えます。

こちら最初もWと書いた面を裏に折り、見えなくします。「トツ—ツ—はW」と覚えます。「ツ—トツ—はK」と覚えます。

詳しくは、弊社ホームページの <http://www.ghdkey.com/morse.html#morse01> をご覧ください。

### 2 受信練習をしましょう

受信練習をするには

- 市販のモールス用のテープやCDによる方法。
- 受信機で実際の交信を聞く。
- 弊社の受信練習器「ピコモールス」を使う。

以上のような方法があります。モールス用のテープやCDは手軽にできますが、毎回同じ符号が来るため、何回も聞いていると覚えてしまい、あまり効果的ではありません。実際の交信を聞く方法は、一般的な交信では早すぎて、とても入門者には受信困難です。

弊社の**ピコモールス**を使うと、遅い簡単な符号から徐々に早い難しい符号やランダム受信も出来、**効果的に受信をマスター出来ます。**

 ピコモールスの詳しい使い方は、弊社ホームページの <http://www.ghdkey.com/pp4.html> をご覧ください。

### 3 送信練習をしましょう

昔は縦振りキーしかなかったのが皆さん必死で縦振りキーを使いましたが、今では符号も綺麗で上達も早い**エレキー**が一般的です。  
(縦振りキーは習得も難しく、綺麗な符号を出すのもとても難しいです。)

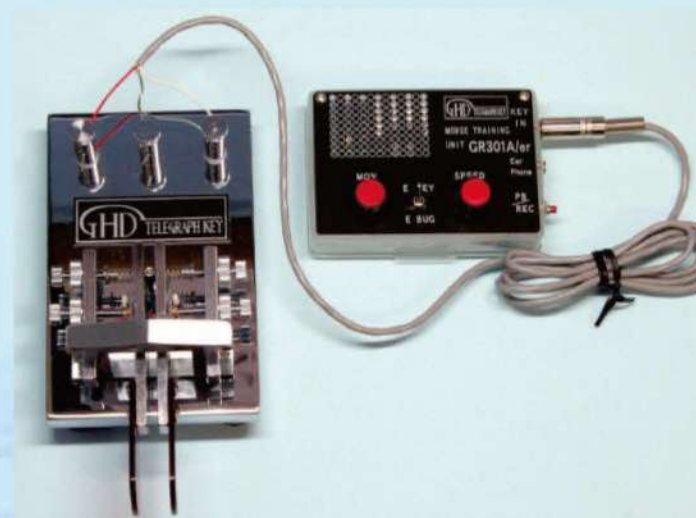
**エレキー**をするには手でつまみを横に操作する**パドル**と電気回路で符号を発生する**キーヤー**が必要です。

**パドル**には弊社の入門用の**GN807F**やビギナーからベテランまで使える**GN607F**などがあります。

**キーヤー**には、弊社の送信練習器の**GR301A/er**がお勧めです。




- ① **パドル**の一例 **GN607F**  
ビギナーからベテランまで使え、  
お勧めです。
- ② **パドル**の一例 **GN807F**  
入門者に最適です。
- ③ **GR301A/er**  
パドルとの接続コードが付属して  
います。



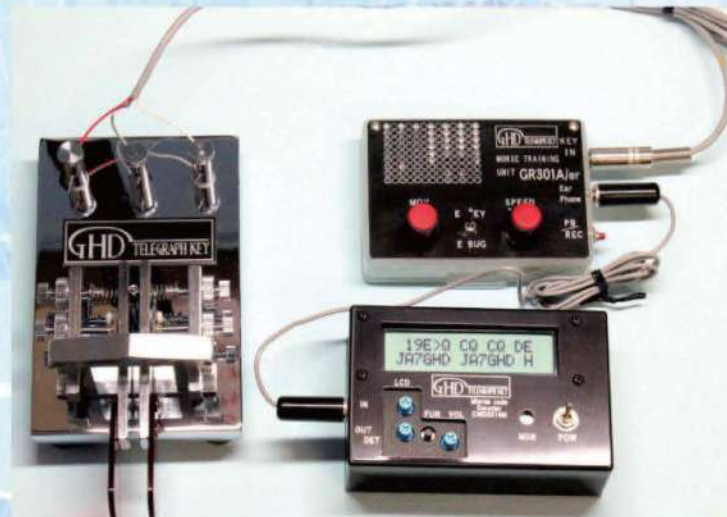
この様に接続します。

- 通常の右手操作の時は**親指で短点**、**人差し指で長点**が出ます。  
(**GR301A/er**に付属のコードの場合、**赤線**が短点でパドルの左の端子へ、**白線**は長点で右の端子へ、**アース線**は真ん中の端子へ繋がります。)

 詳しい操作方法は、弊社ホームページ <http://www.ghdkey.com/morse.html#morse03> の第3章と第4章をご覧ください。  
(最近のCWができるオールモードのリグには、ほとんどキーヤーが内蔵されています。)

### 4 ご自分の送信符号を解読してみましよう

弊社の**CW解読器**でご自分の送信符号が解読出来るように練習すると、送信に自信が持てます。(モールス符号の事を**CW**と言います。)



GN607FからGR301A/erのKey INに、更にイヤホン端子からCW解読器のINに繋がります。

- パドルで打った符号がCW解読器で解読、表示できます。
- エレキーの場合、短点、長点の比率は正確ですが、文字間のスペース(3短点の長さ)や単語と単語間のスペース(7短点の長さ)はオペレーターが作ります。これらを正しく打つと、写真の様になります。
- 文字間のスペースが無いと正しい符号にならず、単語間のスペースが無いと相手が理解しづらくなります。

お問い合わせ先

株式会社 **GHDキー**

〒981-3326 宮城県富谷市明石下向田24-14

TEL **022-779-0681** FAX 022-779-0682

GHDキー

検索